

し ら の 本 木 の 春

岩手県の木製品のすすめ

 wood in Iwate

はじめに

岩手県では、令和2年9月に県産木材を使うことによって豊かな暮らしを目指すことなどを内容とした「いわて木づかい宣言」を採択しました。

このパンフレットでは、県内の工房や木工作家が、素材選びから仕上げまで、こだわり抜いて製作した、岩手の木材を使った家具や食器、生活雑貨など、温もりあふれる木製品を紹介しています。

豊かな自然に育まれた岩手の木材を、暮らしに取り入れてみませんか。

いわて木づかい宣言

県土の8割を占める本県の森林は、県の木であるナンブアカマツをはじめ、スギやカラマツ等の針葉樹のほか、木炭やしいたけ原木などにも利用されるナラ等の広葉樹といった多様な樹種で構成されています。

本県の森林資源を有効利用していくことは、「植える、育てる、使う、植える」という森林資源の循環を生み出し、適切な森林整備を通じて、地球温暖化の防止及び循環型社会の形成に大きく貢献するものです。

この森林資源の重要性を認識するとともに、森林がもたらす多くの恩恵をよりよい形で次の世代に引き継ぐため、行政、森林所有者、関係事業者、関係団体、県民等が協働し、一体となって、県産木材等の幅広い利用を積極的に進めることを決意し、ここに宣言します。

- 一 私たちは、木材利用を進め、木材利用意識の高揚や自発的な取組による豊かな暮らしと、環境への負荷を低減した快適な生活環境を目指します。
- 一 私たちは、豊かな森林資源を次の世代に継承するとともに、持続可能な森林経営・林業経営を実現します。
- 一 私たちは、県産木材の価値の向上を実現し、森林所有者及び木材の生産から利用に至る関係事業者の経営の充実に努めます。



暮らし と 木の 本

岩手県の木製品のすすめ



もくじ

- 04 木のある暮らし

- 08 **COLUMN 「木を使う」を考える**
日本の森林と、岩手の林業のはなし

- 10 岩手の木製品ファイル ① 岩泉純木家具
- 14 岩手の木製品ファイル ② 大野木工
- 16 岩手の木製品ファイル ③ おりつめ木工
- 18 岩手の木製品ファイル ④ プラム工芸
- 20 岩手の木製品ファイル ⑤ 北上山地家具製作
協同組合
- 22 岩手の木製品ファイル ⑥ 内田販売システム

- 24 **COLUMN 「日本遺産」**
二戸・八幡平の漆産業と岩手の文化

- 26 岩手の木製品ファイル ⑦ 滴生舎
- 27 岩手の木製品ファイル ⑧ 安比塗漆器工房

- 28 **COLUMN 「木を使う」を考える**
木の癒しと暮らしの関係

- 30 一生モノとの出会い
日々使いたい、岩手の木製品

- 岩手で生産される木材たち

木のある暮らし

いわての木の家具を 暮らしの真ん中に

家族が集まるリビングに、岩手の木の家具を置いてみませんか。
家具や住宅に使われる木材には、その香りや調湿機能などによって、
空間を整え、心を落ち着かせる効果があります。
岩手の木材が、豊かな森林に包み込まれるような、
穏やかな家族団らの時間をもたらしてくれるはずです。

岩泉純木家具

(手前から)

国産無垢材のフリーテーブル(センの天板)

..... 374,000円(税込)

ダイニング椅子 59,070円(税込)

リビングチェア(3人掛) 514,250円(税込)

※商品の価格はサイズや素材によって変わる場合があります。
詳しくはお問い合わせください

岩泉町産を中心とした、広葉樹の無垢材でつくられる木製家具。無垢材ならではの特徴的な木目や、テーブルの天板の形などには、素材ごとの個性があらわれます。

撮影場所：オノダ 住宅事業部 北上展示場

岩手県産の無垢材をふんだんに使った家づくりを行う工務店。「いい木からは、いい住まいができる」という信条のもと、厳選した地元材であたたかみのある空間をつくります。



木の製品は 家族と一緒に 成長します

長く使っていると
色合いが変化してきたり、
表面が磨かれてツヤが出てくるのが
木製品の大きな魅力のひとつ。
製品や樹種ごとの
風合いの変化による成長を
楽しみながら、
末長くお使いください。



おりつめ木工

木でつくった樹 ランドセルかけ
55,000円～(税込)

※帽子かけ、靴かけ、洋服かけなど用途に応じて制作
が可能です。詳しくはお問い合わせください

岩手県産のアカマツを使った、遊び心にあふれた木工作品。岩手の豊かな自然をイメージさせる、鳥や動物たちがデザインのアクセントに。



木のある暮らし

日々の食事が 楽しみになる器

おしゃれなカフェで出てきそうな、
シンプルだけど美しい木の器。
温もりあふれる手ざわりや、
軽くて扱いやすい点も人気です。
大人も子どもも、ごはんの時間が
待ち遠しくなる木の器を
取り入れてみませんか。

D



B



大野木工

- A ファミリートレイ1~4号 …… 1,870円~
- B 大椀 クリア色/古代色 …… 各4,180円
- C 中椀 クリア色/古代色 …… 各3,850円
- D 保育トレイ …… 3,850円
(各税込)

岩手県産のアカマツやトチなどを使った大野木工の食器。手になじみやすいフォルムや、美しい木目を生かしたデザインが特徴です。

「木を使う」を考える

日本の森林と、 岩手の林業のはなし

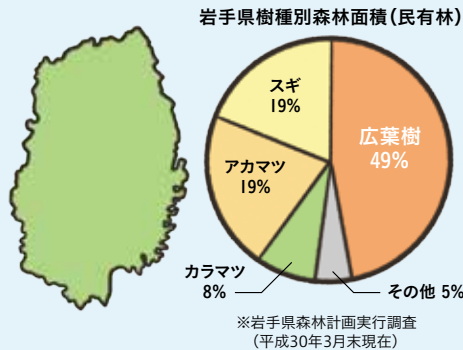
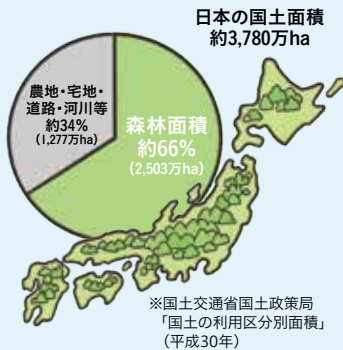
国土の約7割を森林が占める日本。

中でも、岩手県は豊かな森林と豊富な樹種に恵まれた森林県です。

地球環境を守り、人々の暮らしを豊かにしてくれる森林。

「木を使う」ことは、私たちにも出来る

森林資源サイクルの行動のひとつです。



日本の森林

日本は国土の約7割が森林に覆われた森林国です。森林は木材等の生産のほか、地球温暖化の防止、生物多様性の保全、土砂災害の防止、水源の涵養(貯水)など、さまざまな働きを持ち、人々の暮らしを支えています。

岩手の自然と豊富な樹種

森林国日本のなかでも、本州一の森林面積を誇る岩手県。県土の約8割を森林が占めており、県の木「ナンブアカマツ」をはじめとする針葉樹に加え、ナラやクリ、ケヤキなど50種類以上にのぼる広葉樹の豊富さが特徴です。木目の美しいナンブアカマツは寺社などの建築に、硬くて丈夫な広葉樹は家具に使われるなど、木材は樹種ごとに性質と用途が異なります。さまざまな木の使い分けができるのは、岩手県産木材ならではの魅力です。

持続可能な森林経営を行う 岩手の森で育った木材



林業の仕事は、木を伐採して木材を作るだけではありません。豊かな森林資源を次の世代につなげるため、「植える、育てる、使う、植える」という循環を生み出し、森林を健全に保つことが必要です。そのため、岩手県では植林や間伐などの森の手入れのほか、県民による森林づくり活動や小中学校での森林学習会など、啓発活動を含めたさまざまな取り組みが行われています。

岩手県では、県民一人一人が森林と人のかかわりについて考え、県産木材を利用していくことが豊かな暮らしの実現につながることを明記した「岩手県県産木材等利用促進条例」が施行されています。また、「木で感じるほっといわてー使いましょ。いわての木を。ー」をキャッチフレーズとして、県産木材の利用推進を目指しています。



● 岩手の木製品ファイル ●

岩手の木からは、木目の美しさや優しい手触りなど、
さまざまな樹種の特徴を生かした家具や日用品などが作られ、
暮らしの中に取り入れられてきました。

そんな木に対する職人の想いやこだわりが詰まった
岩手の木製品を紹介します。

岩手の木製品ファイル — ①

岩泉純木家具

「三百年生きてきた木は、三百年使える家具に」
木を愛し、自然を愛する、豊かな森の家具工房



岩泉純木家具

リビングチェア(1人掛)
190,300円(税込)

岩泉町産のセンを使ったリビングチェア。体の作りに合わせて丁寧に削り出されたカーブ状の背もたれや、厚い無垢材の座面が、最高の座り心地を生み出します。



豊かな森に囲まれた、岩泉町の家具工房

岩泉町は、岩手県の中央部から東部の太平洋岸に広がり、町の面積の9割以上を森林が占める、岩手県内でも指折りの木材と林業の町です。この町で、昭和50年から広葉樹の家具づくりを営んでいるのが、岩泉純木家具です。「豊かな森に囲まれた、岩泉の自然の恩恵を受けて家具を作っています。使っている木は、岩泉町産のセンやクリ、クルミなどの広葉樹。山では多種多様な木が、いろいろな太さで共存共栄している大自然の姿を見ることができます。山から切り出された木をふもと麓で見て、家具に使う木を選んでいきます」と、岩泉純木家具の工藤林太郎さんが教えてくれました。

“大きい木は、大きいままに生かしたい”

岩泉純木家具が誕生したきっかけは、工藤さんの父で創業者である工藤宏太氏の、木を愛し、自然を愛する強い思いにありました。父の創業当時を振り返る工藤さんのお話です。「昭和30年代、祖父の代にはここは製材所を営んでいました。当時は、大きな木でも小さく切って欲しいと言われてれば、小間切れにして納めていたといいます。立派な大木が合板に加工されたりしていたのです。その様子を見て、数百年を生き抜いてきた巨木の貴重な命に思いを馳せた父は、“大きい木は、大きいままに生かしたい”と、家具づくりの工房を立ち上げま

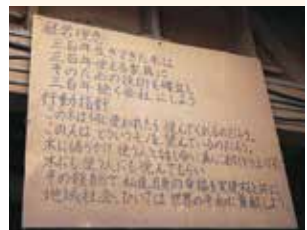
上：丸太ごと仕入れるのが岩泉純木家具のこだわり。切った木材は1～3年ほど乾燥させます
下：セン、クルミ、クリ、ケヤキなど、豊富な樹種から家具が生み出されます



※取材メモ

木の命を第一に考える

工房に掲げられているのは、創業者・工藤宏太氏による経営理念。「三百年生きてきた木は、三百年使える家具に。そのための技術を確立し、三百年続く会社にしよう。木への愛にあふれた言葉です。」





上左：木の手ざわりを最大限に生かすため、丁寧にカンナがかけられていきます

上中央：大きな無垢の板に墨付けをして、木取りを行っていきます

※ 取材メモ

世代をつなぐ 家具づくり

創業45年でお客様も代わりしているという岩泉純木家具。修理はなんでも受け付けているといい、昔の製品が持ち込まれることも少なくありません。座卓からダイニングテーブルへのリメイクなども対応しています。



した。「純木」家具という名前は、無垢材へのこだわりの現れです」。

現在、町の基幹産業である林業を守っていくため、岩泉では町内の林業、木材、建築などの事業者や、行政関係者などが持続可能な森づくりに取り組む、「岩泉の明日の林業をつくる会」が結成されています。岩泉純木家具も同会に参加し、山の自然や山仕事を尊重した家具づくりを行っています。

使う人に合わせたセミオーダー家具

岩泉町内の山から切り出された丸太を買い付けるところから、岩泉純木家具の家具づくりはスタートします。木の香りが満ちる工房には、昭和30年代からの機械が整然と並びます。丸太は板に切り出され、1年以上、大きいものは2～3年をかけて自然乾燥されます。木材を最初に切り出す「木取り」と呼ばれる作業から、1つの製品の完成までを一人の職人が手がけます。同じ樹種でも木目や木それぞれの性質があり、その性質を見極めて家具を仕上げていきます。

製品は多様で、定番商品のソファやチェア、テーブル、キャビネットのほか、使う木材なども含めてオーダーが可能。注文ごとに制作をしていくので、使う人の身長などに家具の高さやサイズを合わせるなど、小回りのきく注文にも対応しています。以前は和風家具が主流で、製品も全てうるし塗りを施していましたが、近年は住まいの洋風化に合わせて、木その



ものの風合いを生かし、軽い色合いの植物系オイルで仕上げた家具が人気です。

暮らしの中心に、無垢のテーブルを

いま岩泉純木家具では、大きな無垢のテーブルを家族の中心に据えるライフスタイル「ビッグテーブルライフ」を提案する家具づくりに取り組んでいます。「東日本大震災を経験し、昨今のウィズコロナと言われる時代を迎え、家で過ごす時間、家族のつながりについて改めて見直しました。木の家具の役割の原点回帰を図りたい。ひとつ屋根の下で、家族がごはんを食べたり、子どもが宿題をしたり、親は在宅ワークをしていたり。その中心に大きな無垢のテーブルがあったら素敵だと思いませんか」という工藤さん。創業から45年が経ち、親の代の家具を修繕しに訪れる、子や孫世代のお客様もたくさんいるといいます。豊かな森に育まれた木の命をつなぎ、家族の絆をつなぎ、世代をつなぐ家具づくりを、これからも続けていきます。

工藤林太郎さん（右から2人目）と創業者の工藤宏太氏（中央）を囲んで。家具職人から小物を作る職人、塗装の職人など、5名ほどで工房を切り盛りしています

※ 取材メモ

家族をつなぐ 無垢のテーブル

住宅を建てる際、テーブルを買ってから家を設計するお客様もいるのだとか。食事から団らん、仕事や勉強など家族みんなが、木のテーブルの周りに集う暮らし。ライフスタイルから提案する家具づくりに取り組んでいます。



岩泉純木家具有限公司

<ギャラリー純木家具>

住 所 岩手県盛岡市材木町8-26

T E L 019-624-4323

Email morioka@junbokukagu.co.jp

U R L <https://www.junbokukagu.co.jp>

<本社工房>

住 所 岩手県下閉伊郡岩泉町岩泉字片畑7番地

T E L 0194-22-3302

Email ask@junbokukagu.co.jp



HPは
コチラ

木目の美しさと柔らかな手ざわりで食卓を彩ります

ボウル(5寸・6寸・7寸) クリア色 / 古代色
..... 3,850 円~(税込)

岩手の木製品ファイル ②

大野木工

| ぬくもりあふれる食器 |





水にも熱にも強い仕上げ
美しい木目のデザイン
手によくなじむ木の器

小さな子どもの手にも馴染みやすい、丸みのある木の器で知られる大野木工。1980年代の「一人一芸運動」をきっかけに、洋野町（旧大野村）で生まれた木工品で、岩手県内で育った樹齢70年から100年ほどのアカマツやトチを使っています。職人が一つひとつ丁寧にろくろを回しながらノミやヤスリで仕上げる手作りの食器は、木目を生かすための「半割方式」という木取りによる美しいデザインが特徴です。さらに大野木工の最大の特徴は、プレポリマー塗装を使用して木の強度を上げたこと。これにより、従来は木の器では不可能だった食器洗い乾燥機の使用ができるようになり、耐久性の高い丈夫な食器に仕上がっています。「お客様からは、耐水性が高くて洗いやすい、



子どもの使いやすさに
こだわった
「保育給食器セット」
(12,683円) (税込)

湯呑みや汁椀なども熱くなりにくいので持ちやすい、などという声をいただきます。修理をしながら使えるように作っているので、長く愛用してもらいたいです」と、大野木工の瀧音さんは語ります。食器の底には制作を手掛けた職人を示す焼印が入っているので、購入の際は焼印のデザインも比べて楽しんでみてはいかがでしょうか。

大野木工
一般社団法人大野ふるさと公社

住所 岩手県九戸郡洋野町大野 58-12-30
TEL 0194-77-3202
FAX 0194-77-3203
URL <https://ohnocampus.jp>



HPは
コチラ

地元の身近な木材である
アカマツを中心に使った、
丈夫で美しい食器です



木工房
瀧音嘉幸さん



木取りをした後の粗彫り材が数多く並びます



器の底に入る職人それぞれの
個性的な焼印

地元のアカマツを使って制作された、雫石町役場にある「雫石のテーブル」。雫石の漢字と、天板は町の地図をあしらっています

岩手の木製品ファイル ③

おりつめ木工

ユーモアに満ちた家具

●Shizukuishi Town



背もたれと肘掛けのついた「ひじかけ椅子」。座面など全体的にゆるやかなカーブが施され、ゆったりとした座り心地を味わえます

ひじかけ椅子 55,000円(税込)

※商品のサイズなど、詳しくはお問い合わせください



やわらかな針葉樹を使い
木への愛にあふれた
ユニークなオーダー家具

「木が喜ぶものを作ると、自然と人間が喜ぶものになると思っています」と語る、おりつめ木工の和山忠吉さん。岩手の自然をモチーフにした作品を多く手がけ、雫石町の漢字と地図をモチーフにした「雫石のテーブル」や、宮古市ではウミネコのデザインをあしらった「ウミネコストッパー棚」、大槌町の産直施設には鮭をあしらった「南部鼻曲がり鮭の背もたれ椅子」など、ユニークな作品を提供しています。

和山さんが大切にしているのは、使う人とのコミュニケーションです。完成品のサイズや使う側のニーズをとらえるため、オーダー家具の制作前にはしっかりと打ち合わせを行います。



座る人の体の形に合わせ、丁寧にカンナをかけていきます

「ころがけていることは、材料を上手に使うこと、木を熟知し特徴を理解することです」と和山さん。「木工職人として使いたい木ではなく、身近な山の環境を考えて木を選びます。よく使うアカマツは県の木でもありますね。木目が明るくて綺麗な木です」と話してくれました。

おりつめ木工

住所 岩手県岩手郡雫石町御神赤淵 74-12
TEL 019-692-6220
FAX 019-692-6225
URL <http://chukichi.com>



HPは
コチラ

「喜喜として木」、コミュニケーションと遊び心を大切に、木が喜ぶ作品を作ります

おりつめ木工
和山忠吉さん



手作業でつくられる絶妙な丸み



用途に合わせたさまざまな工具が並ぶ工房

奥：靴べらとスタンドのセット。自宅用はもちろん、新築祝いにも人気。手前：タモやカエデなど、樹種ごとに重さが異なる肩たたき。オノオレカンバは重くて堅い使い心地を好む方に人気。

靴べらセット 19,250円～
靴べら 4,950円～
肩たたき 8,800円～
(各税込)

岩手の木製品ファイル ④

プラム工芸

オノオレカンバの工芸品

●Ninohe City

目が詰まって堅い木質から、昔からそろばんの珠の材料や楽器のマリンバの鍵盤などに使われていたオノオレカンバ。「斧が折れるほど堅い樺」というのが樹名の由来

滑らかで美しい木の質感
機能性を追求した
銘木デザインクラフト



「五角箸」(1,980円～)やターナー(3,520円～)、スプーン(1,980円～)等が人気(各税込)

「創業者である父が、木の美しさと質に惚れ込んで木工を始め、しゃもじなどを自作したのがプラム工芸の始まりです」と話す同社の込山豊さん。オノオレカンバは堅すぎて加工が難しいとされ、創業当時は箸やしゃもじのような日用品への活用例は他に無かったと言います。作業には堅い樹種用の機材や道具を使っていますが、鋸の歯などは摩耗が激しく交換サイクルも早くなると教えてくれました。

プラム工芸では、製品の9割以上にオノオレカンバを使用しています。木肌の美しさを生かした手に吸い付くような滑らかな触り心地と、使いやすさを追求したデザインが同社の特徴です。製造する商品は、人気の「五角箸」、木の重みで凝りをほぐす「肩

たたき」、立ったまま使える長さが特徴的な「靴べら」など多岐にわたります。コロナ禍により自宅で過ごす機会が増えたためか、カトラリーやキッチンツールの注文も増えているとのこと。込山さんは、「一度使っていただくと良さが伝わって、買い足したりリピートしてくれるお客様が多いです。修理をしながら愛着を持って使って欲しいです」と話してくれました。

有限会社プラム工芸

住所 岩手県二戸市堀野字大川原毛74
TEL 0195-23-4883
FAX 0195-23-4249
URL <https://www.cplum.com>



HPは
コチラ

愛着を持って長く使って
いただけるような、日常づ
かいの小物を届けます

プラム工芸
込山豊さん



工房には過去に制作した製品の型などが膨大に保管されています



粗取りのあと一つひとつを手作業で磨きます

折りたたまずに仕舞
える形は、子どもが
指をはさんで怪我を
しないように、とい
う思いから

岩手の木製品ファイル ⑤

北上山地家具製作 協同組合



素材を生かす多機能家具

ほとんどの工程が手作業で行われる
中、材の切り出しサイズを統一するな
ど、作業効率化の工夫も垣間見えます



スギの持つ個性と魅力を 生かした、新しい アウトドア家具のかたち



木の遊具「kieco」シリーズなども
受注生産しています(価格応相談)

「スギ材は表情が豊か。柾目や板目の違いに加え、白かったり赤かったりと色合いにも個性があります。削りをかけるごとに美しさが磨かれていくような木なんです」。

素材としての魅力を語るのは、北上山地家具製作協同組合の留場枝美子さん。同組合は、豊かな森林資源を有する遠野市に整備された遠野木材工業団地に工場を構え、伝統の民芸家具から特注家具、ミニハウスなどさまざまな製品を手がけてきました。

新製品の「アウトドアセット」は、県の事業で企画・制作したものです。留場さんほか女性スタッフの感性を生かし、スギの肌合いの美しさと柔らかさを前面に押し出しつつ安全性にも配慮。イスを格納でき、テーブルとしても使えるワゴンには、女性や子

どもでも動かしやすい大型のキャスターを取り付けました。

構造材として使われることの多いスギを家具にする。この新しい挑戦は、木材の調達から仕上げまで、遠野木材工業団地の企業が力を合わせることによって実現しました。同組合代表の高橋将史さんも「岩手の木の可能性が広がった」と、大きな手応えを感じています。

北上山地家具製作協同組合

住所 岩手県遠野市青笹町中沢8-55
TEL 0198-62-2525
FAX 0198-62-2605
URL <http://千葉木工所.com/index.html>



HPは
コチラ

自分のデザインが商品になるのは初めて。アイデアがカタチになるのが木工の楽しさです！

職人
留場枝美子さん



スギのとげが手を傷つけないよう、
パーツ一つひとつを丁寧に面取りします



木目を生かしたクリア塗装は、屋外
使用に備えた防腐加工の役割も

パワースラッガー … 13,200円～(税込)

素振りによって正しいスイングフォームが身に付くバッティング練習機。硬質な木材とゴムのおもりから繰り出される打撃音も爽快



岩手の木製品ファイル ⑥

内田販売システム

自然素材の優しい器具 |



●Miyako City



自然に囲まれた工場で、岩手県産のオノオレカンバ、イタヤカエデ、スギ、クリなど、製品にあわせたさまざまな樹種を取り扱っている内田販売システム



プロスポーツ選手から
美と健康を気遣う人まで
幅広く愛される天然木製品



足裏アーチを優しく刺激する「アーチドクター AQ」(10,700円～)、体幹を鍛える「キュットピット」(6,600円～)などの人気商品(各税込)

「木が好きで、あったらいいなと思うものはすぐ作ってしまいます」という内田販売システム代表の内田広子さん。岩手県産木材のトレイやカッティングボードなどの家庭用品から、デスク用品、スポーツ用品など、幅広いジャンルの自社製品の製造販売を行っています。なかでも「パワースラッガー」などの野球のバット練習機は、発売から26年を迎えるロングセラー。木材加工の大型機械であるNCルータを導入した昭和61年頃、「150キロの球を打つ感覚を味わいたい」という野球好きの知人と共に試行錯誤を重ねて完成させました。以降、少年野球の強豪校やプロ野球選手の間にも口コミで広がり、リニューアルやモデルチェンジを行いながら年間約1万本を売り上げてい

ます。

スポーツ用品を手掛ける中で、身体や健康へも視野を広げた内田さん。足裏や筋肉を天然木のアーチで優しく刺激する「アーチドクター AQ」、インナーマッスルや体幹を鍛える「キュットピット」など、木の感触が心と体に心地よい県産木材の器具も開発し、美容や健康に関心の高い女性たちからも人気を集めています。

有限会社内田販売システム

住所 岩手県宮古市刈屋4-1-1
TEL 0193-73-2840
FAX 0193-73-2570
URL <http://www.uchida-power.jp>



HPは
コチラ

自然の力で健康を応援、
心にも体にも優しい岩手
県産木材の器具です

内田販売システム
内田広子さん



インテリアとしても馴染みやすい色合い



丁寧な磨きが優しい肌触りを生み出します

二戸・八幡平の漆産業と 岩手の文化

古くから漆器づくりが行われてきた、県北部の二戸市と八幡平市。

令和2年6月には、魅力的な文化や伝統を世界へアピールする文化庁の日本遺産に認定されました。

また、同年12月には日本産漆生産・精製技術がユネスコ無形文化遺産に登録。新たな物語の誕生に、期待が高まります。



「日本遺産」とは、魅力ある日本文化や伝統を各地から選出・認定する文化庁の新しい制度です。今回認定された「“奥南部”漆物語～安比川流域に受け継がれる伝統技術～」は、かつて「奥南部」と呼ばれた八幡平市から二戸市へ流れる安比川流域に根付いた漆文化の繋がりに光をあてたもの。

安比川の上流に広がる山域には、上流に

木を伐採して椀や盆などを作る「木地師」が住み着き、中流域にはその椀や盆に漆を塗る「塗師」が暮らし、下流域では漆の木から樹液を採取する「漆掻き職人」が住み、木材から漆器へと繋がるものづくりの伝統と技を現代に受け継いで来ました。一連の作業を地域内で全部まかなうことができるのは、この地域の大きな特徴なのです。





美しく強い、漆の秘密

縄文時代の遺跡からも数多くの漆製品が出土するほど日本の暮らしと深く関わってきた漆。それは漆だけが持つ固有の性質を知り抜いていた、先人たちの知恵と技の賜物です。



「うるわし」という言葉が語源とも言われる漆。その起源は非常に古く、縄文時代の遺跡から椀・皿をはじめ武器や装飾品など数多くの漆製品が出土しています。現代でも、日光東照宮や金閣寺、岩手県平泉町の中尊寺金色堂などに国産の浄法寺漆が使われたように、国宝級文化財の修復に漆は欠かせないものとなっています。

漆は、塗料としてはもちろん接着剤や補強材としても使われます。その理由は、漆の特殊な性質にあります。一般的な塗料と異なり、漆は乾燥するのではなく、成分のウルシオール

と酵素(ラッカーゼ)の働きによって固まります。これによりポリマー(重合)という強い膜ができるため、優れた被膜効果や接着効果を発揮することができます。このように、成分の化学変化による乾燥(硬化)は漆の最大の特徴であり、漆製品の制作過程においては、熟練の職人による温度や湿度管理がとても重要なものになるのです。

問
い
合
わ
せ
先

日本遺産奥南部漆物語推進協議会
(二戸市政策推進課内)

TEL 0195-23-3111 (代表)

FAX 0195-25-5160

岩手の木製品ファイル ⑦

滴生舎

浄法寺漆の魅力が光る



滴生舎

角椀(大)朱 12,100円(税込)
角椀(大)溜 12,100円(税込)

住所 岩手県二戸市浄法寺町御山中前田23-6
TEL 0195-38-2511
FAX 0195-38-2610
URL <http://tekiseisha.shop>



HPは
コチラ

国内最高級の漆とされる浄法寺産漆。その地元である二戸市浄法寺に工房を構える滴生舎は、素地となる無垢の木に漆を染み込ませる「木固め」から中塗り、そして上塗りまで、浄法寺漆を100パーセント使用した贅沢な漆器づくりを行っています。

定番の片口から椀や盆など、塗りの美し

さが際立ちますが、同工房が目指してきたのは「日々のうるし」。日常の中で気兼ねなく使える、使い手の日常に溶け込みながら寄り添う器を届けたいと、装飾をおさえたシンプルなものづくりが特徴です。

安比塗漆器工房

漆の美しさを生かす技

安比塗のルーツは藩政時代に生活の器として作られていた「荒沢漆器」。一時途絶えるも昭和58年に復活、今では普段づかいの漆器として多くの人に愛されています。

国産材のミズメザクラやトチなど歪みの出にくい木地を厳選し、「漆下地」という下地から上塗りまで重ねる技法で製作。使う漆も工房内で精製するというこだわりで、品質にも高い評価があります。漆絵や蒔絵などの加飾を施さず、シーンやシチュエーションを選ばないシンプルなデザインのため、塗りの美しさを堪能できます。

安比塗漆器工房

片口 4.5寸 溜 …………… 25,300円(税込)
くいのみ 溜 …………… 8,800円(税込)

住所 岩手県八幡平市叭田230-1
TEL 0195-63-1065
FAX 0195-63-1066
URL <http://www.appiurushistudio.com>



HPは
コチラ

「木を使う」を考える

木の癒しと暮らしの関係



普段の生活に、木を取り入れてみませんか。
未長く愛用できる木製品は経済的にも嬉しい上に、
日々の暮らしのなかで、自然の癒しが得られます。

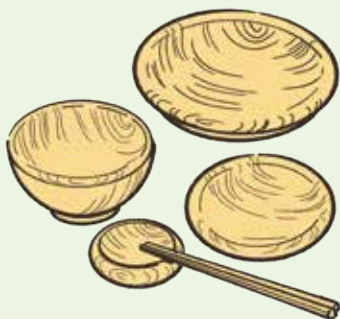


木の香り

森林浴で感じる癒しの正体は、木の香り成分「フィトンチッド」。木造住宅や木製品でもフィトンチッドの効果は持続し、血圧や脈拍を落ち着かせたり、ストレスホルモンを減少させると言われています。

肌ざわりの良さ

木材は金属や樹脂などに比べ、触り心地の柔らかさや自然な温もりを与えてくれる素材です。肌に直接触れたときにも冷んやりとせず、温かみのある肌ざわりの良さが特徴です。



優しい木目

自然の木材を使った製品には同じ木目のものはありません。樹種が豊富な岩手県では、木の違いによる色や模様も楽しめます。世界にひとつだけの自然のデザインを楽しんでみましょう。

経年変化を楽しむ

古い住宅の柱や梁が深い飴色になるのは、紫外線などによる木材の経年変化です。長く使い込まれた道具などの表面が磨かれ、美しいツヤが出てくるのも木材の魅力です。



修理ができて長く使える

無垢材を使った木製品や漆製品などの多くは、使い込んで傷ができたたり汚れが付いたりしても、表面を削ったり漆を塗り直したりと修理をして未長く愛用することができます。

落としても割れない

木の器は陶器やガラスの食器などに比べて割れたり欠けたりしにくいので、小さな子どもにも安心してお使いいただけます。軽くて手に馴染むため、持ちやすいのも特徴です。



和・洋どちらのインテリアにも合う

昔ながらの和風建築から、ヨーロッパや北欧風のデザイン建築まで、幅広いデザインに合わせることができるのは、木材が持つ自然の風合いや素材感ならではです。

親子で受け継げる

築何百年という木造建築があるように、木は適切な環境下で非常に長持ちする素材です。ライフスタイルの変化に合わせてリメイクが可能なのも、木製品ならではの魅力です。



一生モノとの出会い

日々使いたい、 岩手の木製品

森の恵みあふれる岩手には、ユニークな木製品を生み出す
つくり手たちがたくさんいます。

器や生活道具から家具まで、暮らしを豊かに、
楽しく彩るお気に入りを探してみてください。

waranoue

印象的なのは西和賀産の生木（伐って間
もない木）を木工旋盤で加工し、ゆがみ
や割れを生かした作品。ブナやカエデ、
ホオなど木のもつ木目や色が特徴のシン
ブルで美しい器です。

住所 岩手県和賀郡西和賀町
湯田 21-146-6

TEL 0197-62-4700

URL <https://www.waranoue.com>





松森木工所

五感に語りかける木製家具・建具デザインと製造を通じて、森と都市、伝統とデジタル技術、空間と時間と人の合間をつなぐ、穏やかな幸福感を提供するブランド「ima(アイマ)」を2021年より展開。岩手県産木材と5軸NCルーター加工機の組み合わせで、組立式や可動式などの機能性とデザイン性の高い家具・建具デザインに挑戦していきます。

住所 岩手県滝沢市
赤宜屋敷 25-3

TEL 019-684-3609

URL <https://ima.design>



(左奥から) ウッドケース for iPhone (レッド) 13,200円 / 我杯 山桜 漆 27,500円 / 我杯 ロハス 山桜 18,700円
 福おちょこ 左馬 朱 4,620円 / 福おちょこ 山桜 黒 4,730円 / マギーカップ 生拭漆 14,850円 / マギーカップ 黒漆 14,850円 (各税込)

ファンザイ・ ファンクトリー

県産のイタヤカエデや
 北東北産のヤマザクラ
 など高樹齢の広葉樹を
 使った、ユニークなモ
 ノづくりが評判です。

住所
 岩手県大船渡市大船
 渡町字茶屋前7-7

TEL
 0192-47-4123

URL
<http://www.sagar.jp>



一生モノとの出会い

日々使い
 岩手の

TOKUTA

食卓の道具店 TOKUTA

木の質感が生きるミニ
 マル家具シリーズは、
 大槌町での仮設住宅暮
 らしから生まれた優し
 さのデザイン。

住所
 岩手県上閉伊郡大槌町
 大槌第15地割95-274

TEL
 0193-27-7711

URL
<http://tokuta.shop>



32 「式膳 NIZEN ハレ」 テーブル W600×D600×H680 WT8.0kg 1台51,700円(税込)
 チェア W300×D300×H680 WT3.5kg 1脚16,500円(税込)



たい、
木製品

里工房

県産アカマツを中心に、木材の持つ特徴や仕口にこだわった家具を製作。温もりある生活道具も定番。

住所
岩手県滝沢市大石渡
1524-22

TEL
019-688-7809

URL
<http://kumanosawa-studio.blogspot.com>



たくみ芸

ケヤキやエンジュなど天然銘木を使用。ウィンググラスやコーヒーカップなど高度な職人技が光ります。

住所
岩手県八幡平市大更
20-77-2

TEL
0195-75-2070



(左奥から) コーヒーカップ 3,850 円 / 歯ブラシ立て 1,650 円 / どんぐり型くい呑み 1,980 円 / 携帯用箸入れ 8,800 円 / 寄木冷酒カップ 8,800 円 / 携帯用箸入れ (漆塗) 6,380 円 / 箸 (規格品) 2,750 円 (各税込)

一生モノとの出会い

日々使いたい、
岩手の木製品

マルイ造形 家具工業

現代生活に馴染む、時
代筆筒や飾り棚ほかダ
イニング火鉢、和風ソ
ファなどのモダン和風
家具を製作。

住所
岩手県九戸郡九戸村
伊保内11-13

TEL
0195-42-3031

URL
<http://www.marui-zoukei.co.jp>



東北巧芸舎

岩手の木を知り尽くす
職人が、木地製作から
漆塗りまで手がけま
す。使うたびに艶を増
す美しい器。

住所
岩手県滝沢市柳沢
1368-32

TEL
019-688-2968

URL
<https://tohokukogeisya.com>



岩手で生産される木材たち

岩手で育つ木々の一部をご紹介します。木目や色合いなど、それぞれの個性を比べてみてください。



し
ら
と
の
木
の
本

岩手県の木製品のすすめ



岩手県

この冊子に関するお問い合わせ
岩手県農林水産部林業振興課

住所 〒020-8570 岩手県盛岡市内丸10-1
TEL 019-629-5773
FAX 019-629-5779
Email AF0010@pref.iwate.jp
URL <https://www.pref.iwate.jp/>

木で感じる ほっといわて
— 使いましょう。いわての木を。 —

いわて県産木材利用推進キャッチフレーズ